



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

# 松尾 壽之 博士

(国立循環器病センター・名誉研究所長)

## 「DiscoveryとInnovation」

### —私の経験に想う—

2012年5月21日(月) 15時-17時  
理学部生物地学共通講義室  
(青葉山キャンパス生物棟)

松尾壽之先生は、「ノーベル賞の決闘」などでよく知られているように、視床下部ホルモンLH-RHの構造決定により、Andrew Schally博士の1977年のノーベル医学生理学賞受賞に大きく貢献されました。その後、宮崎医科大学、国立循環器病センター研究所において、内因性オピオイドペプチド、心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP, BNP, CNP)、アドレノメジュリン、ニューロメジン、グレリンなど多くの新規ペプチドホルモンを発見されました。「生体内情報伝達に関わる超微量ペプチドの研究」におけるこれまでの顕著な功績に対して朝日賞、日本学士院賞など多くの賞を受賞され、平成22年度には文化功労者顕彰を受けられました。今回、松尾先生に仙台に来ていただいたのを機会に、「DiscoveryとInnovation」と題して、先生の研究のご経験につきましてお話を伺い、今後の研究に役立てたいと思います。

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 水野 健作(生命科学研究科情報伝達分子解析分野)  
問い合わせ先: 795 - 6679